



2004

2004年11月10日
JFEエンジニアリング株式会社

ウェステック大賞2004における受賞について ～ 環境エンジニアリング事業部で2件同時受賞 ～

当社環境エンジニアリング事業部では、本年11月23日（火）～26日（金）に、日本コンベンションセンター（幕張メッセ）にて開催されます『ウェステック2004』の一環として募集された『ウェステック大賞』に、『JFEハイパー21ストーカシステム』と、飛灰中ダイオキシン類の揮発脱離分解システムである『ハイクリーンDX』の2つのシステムで応募しておりましたが、この度『JFEハイパー21ストーカシステム』が『ウェステック大賞プラント部門賞』を、『ハイクリーンDX』が『審査委員長特別賞』を受賞致しました。

『JFEハイパー21ストーカシステム』は、信頼度の高い従来のストーカ炉に、

1. 低空気比燃焼技術
2. 水冷火格子技術
3. 焼却炉一体型灰処理技術

を組み合わせ、排ガス量を約30%（当社従来比）削減して、環境負荷の飛躍的な低減と廃熱回収率の大幅な向上を図った次世代型のストーカシステムです。

本システムは、苫小牧市殿のご厚意により、平成11年3月に竣工した苫小牧市殿『沼ノ端クリーンセンター』の1号炉部分を改造して設置させて頂き、平成14年8月より各種実証試験を実施して参りました。

試験結果に基づき、改良/改造を行い、現時点では上記3技術ともに、初期の期待通りの成果を得ることができております。

また、本システムは2003年12月に、日本燃焼学会より『日本燃焼学会技術賞』も受賞しております。（[詳細図1参照](#)）

『ハイクリーンDX』は、飛灰中のダイオキシン類や有機化合物を400℃以上で揮発脱離させ、高性能酸化触媒により高効率で分解するシステムで、以下の3点を特徴としております。

1. 飛灰中のダイオキシン類0.1ng-TEQ/飛灰g以下を実現。
（新ガイドライン総量規制期待値を実現）
2. 飛灰中のダイオキシン類や有機化合物を加熱により脱離し、処理後の飛灰には有機化合物が含まれないため、ダイオキシン類の再合成なし。
3. 飛灰から脱離し、排ガスに移行したダイオキシン類や有機化合物は高性能触媒により、無害な水と二酸化炭素に酸化分解。

本システムは佐伯地域広域市町村圏組合殿『エコセンター番匠』向けに初号機を納入し順調に稼働している他、2件について受注を頂き、現在建設を進めております。

また、本システムは、2003年6月に（社）日本産業機械工業会より『第29回優秀環境装置表彰日本産業機械工業会会長賞』を受賞しております。（[詳細図2参照](#)）

環境エンジニアリングの市場は、ダイオキシン特需の反動や行財政改革による緊縮予算の影響で、競争が激化し、各社とも生き残りに必死の状況ですが、当社では今回受賞した2つの新技術を含め、これまで培って来た技術力をベースにした環境エンジニアリング事業に、本年10月に当社に集約したPFIや環

境リサイクルの新事業を加えた『総合環境事業会社』として展開し、市町村をはじめとする環境行政に携わる皆様、地域住民の方々のお役に立つ会社を目指し、一層の努力を重ねて参ります。

以上

-
- 本件に関するお問い合わせは下記にお願い致します。
JFEエンジニアリング（株） 総務部 総務室 **TEL.03（3217）2138**
-